


補助資料③

令和6(2024)年度


審判員の目標3

『安心・安全なゲーム運営』



1

モダンハンドボール



近年のハンドボール競技の特徴  
⇒ 激しいボディーコンタクト、スピーディーなゲーム展開

「ハードプレーとラフプレーの見極め」


競技規則第8条「相手に対する動作」 ⇒ 攻撃側、防御側の双方にあてはまる  
<身体接触の際>

- ◆ 両者の位置関係
- ◆ 違反を受けたプレーヤーへの影響

われわれレフェリーが、第8条を理解・整理し、解決していかなければならない

2

安心・安全な  
ゲーム運営




◆ ハンドボールの概念  
ハンドボールの競技規則の精神は…  
相手の身体を傷つけることなく である。

8:4、8:5の適用 … 競技規則第8条の理解  
Long step、Foot on Foot、GKの頭部直撃 など  
プレーヤーの安全面を阻害するようなプレーは許されない

3


試合開始15分で基準を示す



- ・ 8:1 (許される行為)、8:2 (許されない行為)、8:3 (罰則あり) の違いを明確に示す
- ・ 8:4 についての判定 (開始直後であっても)
- ・ 8:5、8:6 (危害を及ぼす行為)
- ・ 予防的行動・コミュニケーション (口頭での注意、ボディーランゲージ)

4


競技規則第8条の理解



- 8:1 許される行為
- 8:2 罰則の適用に相当しない違反行為
- 8:3 罰則を適用する違反行為  
どの罰則を適用するかについての判断基準
- 8:4 即座に2分間退場を判定すべき違反行為
- 8:5 失格として判定すべき違反行為
- 8:6 意図的で、危険かつ悪質な違反行為による失格 (報告書を伴う)


5

競技規則第8条の理解




スポーツマンシップに反する行為

- 8:7 罰則を段階的に適用すべき行為
- 8:8 即座に2分間退場を判定すべき行為
- 8:9 失格と判定すべき行為
- 8:10 報告書を伴う



6

★競技規則第8条の理解①  
…競技規則 8：1 (a) ~ (c)



次の行為は許される

- (a) 他のプレイヤーの手からボールを取るために、開いた片手を使うこと
- (b) 相手の身体に接触し、そのまま相手の動きに合わせてついていくために、**曲げた腕**を使うこと
- (c) 位置取りをめくり、相手をブロックするために**胴体**を使うこと

7


★競技規則第8条の理解①  
…ハードプレーとラフプレーの見極め  
(防御プレイヤーの位置と防御行為)

防御行為の **ハードプレー** とは・・・

- ◆ 攻撃側プレイヤーの正面
- ◆ 競技規則 8：1 の状況 (例えば、曲げた腕)
- ◆ 相手の安全面を守る

↓


接触の度合いが強かったとしても  
**ハードプレー** として認める



8

★競技規則第8条の理解①  
…8：1 良いディフェンスの例

DFプレイヤーは、**曲げた腕**を使いながら、相手正面に入り、ついていっている。  
(正面・曲げた腕・ボールに対してプレーする)



9

★競技規則第8条の理解②  
…競技規則 8：2 (a) ~ (d)


次の行為は許されない

- (a) 相手が手に持っているボールをひたたく、叩き落とす
- (b) 腕、手、または脚を使って相手をブロックすること
- (c) 身体やユニホームを捕まえること
- (d) 走って、あるいはジャンプして相手にぶつかること

10

★競技規則第8条の理解②  
…8：2(c) 正しいディフェンスの例


DFは相手に対して、正面からのコンタクトを試みている。決して罰則を適用してはならない。  
ピポットも明らかな得点チャンスを得ているわけでもないの  
で、OFチームの**フリースロー**。それ以外の判定はない。



11

★競技規則第8条の理解②  
…8：2(d) オフェンシブファールの例


DFはボールを持ったOFプレイヤーに対して、**先に正面に**位置を取っている。レフェリーの判定は正しい。  
**オフェンシブファール。相手チームのフリースロー。**  
(先に位置を取る・正面)



12

★競技規則第8条の理解③  
 … 8 : 3 罰則を適用する違反行為  
 罰則の適用の判断基準


明らかに（ボールではなく）相手の身体を狙った違反に対しては、罰則を適用しなければならない。これは、フリースローや7mスローの判定だけでなく、はじめに警告（16:1）、次に退場（16:3b）、失格（16:6d）というように、少なくとも段階的に罰則が付加されることを意味する。



13

★競技規則第8条の理解③  
 …8 : 3 どの罰則を適用するかについての判断基準

- 違反行為をしたプレイヤーの **位置**  
 ・ 相手に対して、正面？側面？後方？
- 違反行為が対象とした **身体の部位**  
 ・ 胴体？シュートしている腕？脚？頭部？喉？首？
- 違反行為の **激しさの程度**  
 ・ 接触の強度は？相手の動きの速さは？
- 違反行為の **影響**




14

★競技規則第8条の理解③  
 … 8 : 3 (a)(b)

DFは積極的に前へ動きながらコンタクトを試みている。決してオフェンスファウルにしてはいけない。違反を受けたプレイヤーへの影響もないため、**ゴールイン**。

★口頭注意をするべきである。（警告相当のプレー）



15

★競技規則第8条の理解③  
 …ユニホームをつかむプレー

8の2(c) 相手が自由にプレーを継続できるような状態であったとしても、身体やユニホームを捕まえること。

8の3 明らかに（ボールではなく）相手の身体を狙った違反に対しては、罰則を適用しなければならない。

8の4 危険性を軽視した違反行為 (b) 捕まえ続ける

16

★競技規則第8条の理解③  
 …ユニホームをつかむプレー  
 ゴールレフェリーとコートレフェリーが連携



GRからは見えないかも…  
 CRの方が見やすい場合もある。  
 共同作業で管理する。

17

★競技規則第8条の理解③  
 …攻撃側がユニホームをつかむ場合も



18

★競技規則第8条の理解③  
…8:3(a)(b)

ピボットがボールをキャッチした時、DFはピボットへのコンタクトを止めた。そのため、ピボットは、ボディコントロールを失わずにシュートを打ち切った。**ゴールイン**。

★口頭注意をするべきである。(警告相当のプレー)




19

★競技規則第8条の理解④  
…8:4 即座に2分間退場とすべき違反行為

- a) 衝撃の大きい違反行為や、高速で走っている相手に対する違反
- b) 相手を背後から捕まえ続けること、あるいは引き倒すこと
- c) 頭や喉、首に対する違反
- d) 胴体やボールを投げようとしている腕を激しく叩くこと
- e) 相手が身体のコントロールを失う行為をしようとする事(例:ジャンプ中の相手の足/脚をつかむ。8:5aを参照)
- f) 高速でジャンプして、あるいは走って相手にぶつかること

**開始直後でも、即座に2分間退場もありうる!**




20

★競技規則第8条の理解④  
…8:4(b) 即座に2分間退場とすべき違反行為

試合開始直後であっても、後方からのプッシングには、**即座に2分間退場**を判定しなければならない(警告では不十分)。

シューターは明らかな得点チャンスを妨害されたため、**7mスロー**を判定する必要がある。


(判断基準を強く示す場面である)



21

★競技規則第8条の理解④  
…8:4(b) 即座に2分間退場とすべき違反行為

相手を背後から捕まえ続け、さらに引き倒したため、レフェリーは**即座に2分間退場**とすべきである。



22

★競技規則第8条の理解④  
…ウィングシュートに対するディフェンス

☆『Long Step』と『Foot on Foot』

◆**防御側の動きと位置**(ゴールエリアの内 vs 外)

- ☑ 接触が起こる前の動き
- ☑ 接触の時の位置
- ☑ 防御側の足の動き
- ☑ 防御側が攻撃側に向かって接触する




23

★競技規則第8条の理解④  
…ウィングシュートに対するディフェンス

☆『Long Step』と『Foot on Foot』

- ① 1つ目の場面 (14分11秒)  
シューターが先に足を踏み込んだ。その後、DFが接触を試みた。その時、DFの足はシューターの足と接触した。  
→たとえ、得点を決めたとしても、DFを直接の2分間退場とするべきである。
- ② 2つ目の場面 (15分35秒)  
7mT + 直接の2分間退場  
→もし、①の場面でDFに罰則を与えていれば、この場面を防ぐことができたかもしれない。



24

★競技規則第8条の理解④  
…ウィングシュートに対するディフェンス

☆『Long Step』と『Foot on Foot』…**大きな影響**の例



この二つの場面は、7m + (レフェリーの離し合い) + 失格の程度が定しい。

- ①シューターが先に足を踏み込む動作。
- ②その後、DFが足を前に踏み出した。  
※シューターにはもはや踏み込んだ足をどうすることもできない。  
→先にその位置を取ったのはシューターと考える。
- ③『Foot on Foot』の状況となる。
- ④シュートが外れば7mの判定。
- ⑤得点を決めたとしても、少なくとも2分間退場の判定。  
→シューターに大きな影響があれば、失格。

25

★競技規則第8条の理解⑤  
…8：5 失格と判定すべき違反行為

相手に対して危険を及ぼす行為をしたプレーヤーは**失格**となる。

- (a)走っている、ジャンプしている、あるいはボールを投げようとしているときに、明らかに身体のコントロールを失う
- (b)顔や喉、首に対して、特に攻撃的な行為をする  
(身体接触の激しさ)
- (c)乱暴で相手の安全性を無視した違反行為

26

★競技規則第8条の理解⑤  
…8：5 (a) 失格と判定すべき違反行為

高速で走っているプレーヤーの背後から、**明らかに身体のコントロールを失うプレー**である。攻撃側プレーヤーは、違反を予期できず身体を守れないような状況であり、とても危険である。  
レッドカードの判定は正しい。

Topic 2  
レッドカード  
映像 1 KSA-AUT

27

★競技規則第8条の理解⑤  
…8：5 (b) 失格と判定すべき違反行為

**顔**に対して、特に攻撃的な違反行為である。また、プレーヤーがジャンプして空中にいるため、身体のコントロールを失う危険性がある。  
頭部に対する攻撃的な違反行為は、レッドカードである。

Topic 2  
レッドカード  
映像 1 KSA-AUT

28

★競技規則第8条の理解⑥  
…8：6 意図的で、危険かつ悪質な違反行為による失格

報告書を伴う失格

- (a)あまりにも無謀な行為、またはあまりにも危険な行為
- (b)競技の状況とかけ離れた意図的で悪質な行為

Topic 2  
レッドカード  
映像 1 KSA-AUT

映像 2 KSA-AUT

29


★競技規則第8条の理解⑦  
…8：7 罰則を段階的に適用  
(スポーツマンシップに反する行為)

- (a)レフェリーの判定に対して抗議  
有利な判定になるように言葉ジャスチャーを用いる
- (b)相手を味方を言葉やジェスチャーで挑発  
注意をそらすために大声を出して叫ぶ
- (c)3mの距離を確保しない
- (d)演技によりレフェリーの判定を欺く行為
- (e)膝から下の部分を使ってシュートやパスを積極的に妨害する
- (f)戦術的な理由で、繰り返しゴールエリアに侵入する

30

★競技規則第8条の理解⑦  
 …8：7 罰則を段階的に適用  
 (スポーツマンシップに反する行為)

ノーゴールキーパー (エンプティーゴール) の状況でコートプレーヤーがゴールエリア内に侵入し、シュートを防いだ。  
 8：7(f)により、段階的に罰則を適用する。



31


★競技規則第8条の理解⑧  
 …8：8 即座に2分間退場を判定すべき行為  
 (スポーツマンシップに反する行為)

- (a)大きくジェスチャーしながら大声で、あるいは挑発的な態度での抗議
- (b)床にボールを落とすか置かない
- (c)交代地域に入ったボールを、相手チームが取ろうとしているのを妨げる
- (d)ゴールキーパーとの1対1の状況で打ったシュートが、ゴールキーパーの頭部に直撃

32

★競技規則第8条の理解⑧  
 …8：8(d) 即座に2分間退場を判定すべき行為  
 (スポーツマンシップに反する行為)

ゴールキーパーと1対1の状況で頭部にボールが直撃した。ボールの軌道も明らかに変わっているため、即座に2分間退場とする。



33


★競技規則第8条の理解⑨  
 …8：9 失格と判定すべき行為  
 (著しくスポーツマンシップに反する行為)

- (a)これ見よがしにボールを速くに投げたり叩きつけたりする
- (b)ゴールキーパーが露骨に7mスローを止めようとする
- (c)競技の中断中に故意にボールを相手に投げつける
- (d)7mスローの実施に際して、ボールの方向へと頭部を動かしていないゴールキーパーの頭部にボールをぶつける
- (e)フリースローを直接シュートする際に、ボールの方向へと頭部を動かしていない防御側プレーヤーの頭部にボールをぶつけること
- (f)違反された後の報復行為

34

★競技規則第8条の理解⑨  
 …8：9(e) 失格と判定すべき行為  
 (著しくスポーツマンシップに反する行為)

フリースロー直接シュートする際に、防御側プレーヤーの頭部にボールがぶつかった。  
 防御側プレーヤーの安全を脅かすような行為である。  
 よって、8：9(e)を適用し、失格とする。



35


★競技規則第8条の理解⑩  
 …8：10 失格と判定すべき行為  
 (極めてスポーツマンシップに反する行為)

- (a)侮辱または脅すような行為
- (b)競技中にチーム役員がコートに入って、あるいは交代地域から競技を妨害した  
 不正に入場したプレーヤーや交代地域にいるプレーヤーが競技に影響を与え、明らかな得点チャンスを妨害した
- (c)競技終了前30秒間、競技の中断中に…
- (d)競技終了前30秒間、インプレー中に…

36

★**競技規則第8条の理解⑩**  
 …8：10(c) 失格と判定すべき行為  
 (極めてスポーツマンシップに反する行為)

競技終了前30秒間、競技の中断中に相手のスローの実施を妨げたので、8：10(c)を適用し、失格とする。  
 また、7mスローを与える。



37

★**安心・安全のためのゲームマネジメント①**

罰則を出すことなくゲームマネジメントするには？  
 → コミュニケーションの取り方が重要

事前にできたことはなかっただろうか？  
 口頭注意、ボディランゲージなどで**予防**できることもある

38

★**安心・安全のためのゲームマネジメント②**  
 …言葉かけの工夫


◆ リーダーシップ、誠実さから発せられるべき言葉とは？

「はい、入場して」                      「ペアにも伝えておくから」  
 「ポイント、ここだよ」              「ありがとう サンキュー」  
 「ユニホーム、つかまないよ」      「そのまま続けていいよ」  
 「先に位置を取ってしっかり止まっているからOKだよ」  
 「Play on」                                      など…

39

★**安心・安全のためのゲームマネジメント③**  
 …ボディランゲージの活用

ボディランゲージを使用→周囲に具体的に伝わりやすい  
 ※ボディランゲージが優先されないように気を付ける



40

**ハンドボールの発展のために**

- ・安心・安全の保障
- ・ハンドボールに関わる全ての人たちを守る必要がある
- ・ハンドボールを守ることでもある
- ・ハンドボールの競技規則の精神  
 「相手の身体を傷つけることなく…」  
 ↓
- ・競技規則の正しい理解と運用が求められる

41